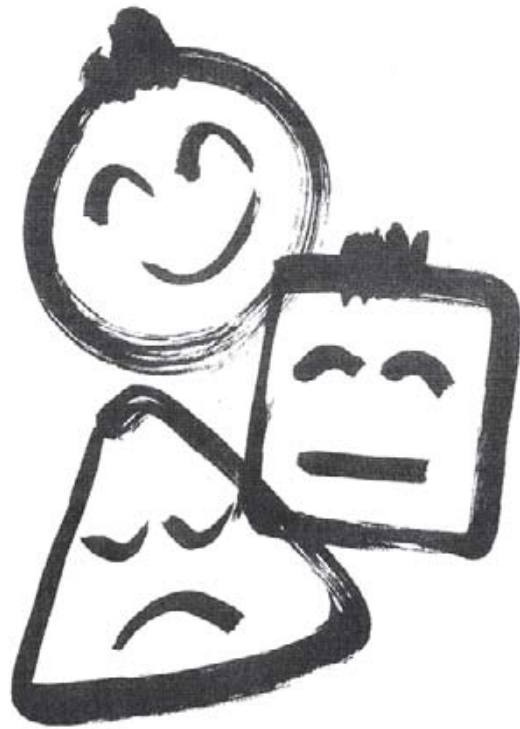


[対談]

学習への動機づけ



学習への動機

波多野 誼余夫氏
(獨協大学教授)

深谷 昌志氏
(静岡大学教授)

人間は有能な学び手である

深谷 まず、子どもを動機づけるというのはどういうことなのか、心理学的な見地からおうかがいしたいと思います。

波多野 今の子どもたちに限らず、人間の学習を扱うときに、基本的に考えられるべきことのひとつは、人間はもともと好奇心が強い、やる気がある存在だということです。それに加えて、最近になって、人間は日常生活の中では有能な学び手であるという考え方が強くでてきました。

学校というシステムの中では落伍者がしばしば出ますが、日常生活では非常に少ない。つまり日常生活というのは、落伍者を出さないシステムになっているのだと思います。

たとえば、ある子が文字がよく読めない場合、友だちに「これは何と読むの」と聞けばわかりますし、聞かなくてももじもじしていれば、となりの子が親切に教えてくれるでしょう。

もっとおもしろいのは、自分の解釈をひとり大きな声で言っていると、それが違っているときはほかの人が教えてくれるということがあります。たとえば、電車に乗るとき、「この電車は北千住に行きますか」と聞けば、大抵の人はうそをつかないで教えてくれますが、それだけでなく、「これ北千住に行くよなあ」と言いながら乗ると、違っていれば、

「この電車は北千住には行かないよ」と、まわりの人が教えてくれると思います。このように日常生活ではまわりの人が助けてくれる場合がたくさんあり、こうした援助に基づいて、人間は有能な学び手である、という考えがでてきたのだと思います。

しかし、学校の中ではほかの子が間違えていても、指摘するとカンニングになるとか、わからないときとなりの子に聞こうとすると、「自分で考えてください」と先生が言います。このように学校の中では援助が止められているということがあって、そのために学校という制度の中で落伍者を作りだしているのだと思います。

深谷 人間は基本的に好奇心をもっているというお話ですが、特に子どもが強いということはあるんですか。

波多野 人間以外のほかの動物は幼児期にまとめて学びますので、たとえば、子ネコは好奇心が強いが親ネコはそうでもないということがありますね。しかし人間は、最近の生涯発達という考え方ですと、老人になっても好奇心はおとろえないといわれています。今は定年後を第二の人生という言い方をするように、定年後、昔からやりたいと思っていた写真始める人がいたり、テレビの歴史ドラマに関連したバスツアーを企画すると、お年寄りに人気を博す。歴史への興味など、年をとって低下するどころか、かえって強くなっているケースもあります。

づけ

〔はじめに〕

波多野教授の『知的好奇心』（中公新書、昭和48年、稲垣佳世子と共著）は教育関係の専門家に強い衝撃を与えた。発想が新鮮な上に読みやすく、しかも内容が充実しているというので、学習心理学を考える際のバイブルのような評価を受けた。現在、そうした発想をどう発展させているのか。波多野教授に「動機づけ」についてのお考えをうかがいたいと思った。
（深谷）

情報化社会の中での好奇心

深谷 先生の著書の中で、私たちににとって一番衝撃的だったのは、『知的好奇心』でした。なぜ「知的」という言葉がついたのですか。

波多野 ただ「好奇心」でいいのではないかという意見も結構ありましたが、「好奇心」というと、自分で体験してみなければ気がすまないというところが強いような気がしたのです。あの頃ちょうど「好奇心の強い女」という映画もはやったりしていましたので。そういう体験への好奇心ではなく、知りたがりやということがあるのではないか。自分でやってみなければ納得できないものもあるが、そうではなくて、「こうだ」といわれると、「そうか」といってすむこともあるのではないかと考えたのです。そこで「知的」という言葉をつけたという、その程度の軽い意味だったのです。

深谷 そうですか。波多野先生というと「知的好奇心」というネーミングがとても印象強いのですが、ご本人は「知的」にそれほどこだわっていらっしゃらない。

波多野 あまり「知的」というのを強く言うと、普通の人にはそんなものはない、となるかもしれませんが、そうではなくて、いろいろところで知りたいという気持ちがあるのではないかと思うのです。

深谷 好奇心といえば、現在のように豊かな

生活の中では、好奇心は損ないがちだとお考えですか。

波多野 情報過多だと知りたい気持ちもなくなるという説もありますが、私はそうは思いません。というのは、今ある情報は自分たちが本当に知りたいものとは限らない。また、知れば知るほど、もっと知りたくなるという面もあると思うからです。子どもたちに「何か質問してごらん」と言っても、なかなか質問ができないというときがありますが、それは知識がないから質問できないのです。ある程度の知識があれば、それについてもっと知りたくなったり、疑問が湧いてくると思うのです。その意味では、情報化社会の中でも、依然として好奇心というのは働いていると思っています。

波多野 誼余夫（はたの・ぎよお）氏 プロフィール

1958年、東京大学教育学部教育心理学科卒業。1964年、同大学院博士課程修了。教育学博士。現在、獨協大学教授、全米教育アカデミー外国人准会員。専攻、発達心理学、認知科学。
著書『知的好奇心』『人はいかに学ぶか』（いずれも共著、中央公論社）他。



写真右・波多野館余夫氏 左・深谷昌志氏

基礎学力の捉え方

深谷 先ほど学び上手というお話がでしたが、学び上手というのは好奇心のご研究の後にでてきた考え方ですか。

波多野 そうなんです。このところ10年ほどとっていいかと思います。

心理学者が実験室で被験者に課題をやらせる場合、被験者があらかじめ知っていることはなるべく使わせないようにしていました。そうしますと、あまり有能という感じがみえてこないのです。ふだん暮らしているところから切り離されると有能でなくなるとか、有能さというのはお互いに支えあっている上に成り立っている部分が多いからだと思います。人と一緒にやると、一人一人ができることのより以上のことができるということがわかってきました。

深谷 その場合には、学ぶというのはどう考えられたのですか。

波多野 学ぶというのは、最終的にはその人が一人でできるようになることだと思います。しかも、ある場面だけでなく、いろいろな場面でできるようになることが目標だと考えていいと思いますが、そこへいくまでに外部のサポートがあるとうまくできるという状態が結構長くあるのではないかと考えられるようになったのです。

たとえば、ここから九段下の駅までどう

やって行くかを言葉で言うのはむずかしい。その意味で私は九段下までの道順を学んでいないとも言えるのですが、歩いていけばまず確実に駅に着ける。というのは、一般化していえば、私たちが仕事をするときには絶えず外からいろいろな情報をとりいれながらやっているからだと思います。また、料理を作るときに途中でクックカードを一、二回見るとできるというのも、(最終的には見ないでできるのが学ぶということだとしても) 学ぶ途中にあると思います。

もともと人間というのは遺伝的に進化してきただけでなく、人工物をつくって(それが文化の重要な側面です)、次代の人がこれを利用しながら行動するという動物だと思うのです。つまり、人工物を使うというのがむしろ自然であり、全部頭の中でやってしまうことは必ずしも必要ないのではないのでしょうか。これはコンピュータの発達などとも関係があるわけです。情報をしまっておいてとり出すということだったら、コンピュータにやらせたほうがいい。外にあるいろいろな情報を得ながら、自分でどういうことができるかが人間にとって大事になってきたと思います。

このようなことも含めて考えてみると、日常生活では、人は学び上手であるというのは確固たる事実だと考えていいのではないかと思います。

深谷 残念なことに、学校という場は先生がおっしゃる意味での学ばせる技術というのを

あまり教えていないですね。

波多野 そうなんです。生涯教育がいわれるようになった今、学校がどういうふうに変わらなければいけないかを考えてみますと、今のように知識をたくさん獲得するというところに重点をおきすぎるのはどういうものかと疑問が起きてくると思うのです。

深谷 実際、最近のアメリカやヨーロッパの学校では、今先生がおっしゃったような学ばせ方をかなり考えるようになっていきますね。

波多野 そうだと思います。日本の子どもたちは素直で、教師が期待することを率先して覚えてくれるので、教え方が変わらないんです。アメリカなどは、子どもが勤勉に何かを覚えるということがないので教え方が余計に変わっていくということがあるかと思っています。

たとえば、九九を考えてみても、日本では九九もスラスラ言えないのは非常にはずかしいというか、大事な基礎学力が欠如しているようにとられます。しかし、実際問題として九九がわからなくても日常生活は送れるのではないかと思います。平方根にしてもしかりです。ですから、簡単な計算は電卓にやらせてしまおうということも含めて、いろいろな人工物にやってもらえるものはやってもらえばいいのではないかと。それを東ねていく力が本当は大事なんだと考えると、学校のイメージも大分変わってくるのではないのでしょうか。

深谷 そうしますと、もしかしたら、基礎学力というのも幻想かもしれませんね。

波多野 ですから、何が基礎かといったら、東ねる力が基礎である。九九がスラスラ言えるのはむしろ、要素学力みたいなものであって、それは本当に大事なことでなくなっているのではないかと。しかし、電卓が壊れたら、あるいは停電になったらどうするのかという人もいますが、そうした例外的なときのために九九を何十時間もかけて練習するのは疑問になってくると思います。それよりはむしろ、たとえば、数の概念がわかっていて、あとは九九はどうやって求めるのかをわかっ

ていればよいのではないのでしょうか。

人工物を利用して学ぶ

深谷 今の学校の学力はテレビやラジオも本もない明治時代の頃にぴったり合っているようですね。あの時代は全部覚えなければならなかったかもしれませんが、今は情報を簡単に手にできるので記憶の装置を頭の中にもっていることがあまり意味がないように思うんです。子どもさんの中には記憶が苦手な子がいます。ところが、日本では記憶が苦手だと勉強はだめだというのでやる気がなくなってしまうのです。

波多野 そうなんです。これはあほらしいと思ってやる気がおこらないという子もいれば、あほらしいとは思わないで一生懸命やるけれど、苦手なのでやる気がなくなるという子もいます。深谷先生がおっしゃるように、明治時代にもっていた人工物のセットと、現在、私たちが持っているセットは非常に変わってきていますから、子どもたちの学ぶべきこと、学びたいことも変化してきているのではないかと思います。それに合わせたものをやれば、子どもたちはもっとノッてくる可能性があるのではないかとというのが、私たちの基本的な考え方なのです。

深谷 その場合に、教師に限らず子どもをとりまくおとなたちの態度はどうしたらよいのでしょうか。

波多野 おとなは自分たちが学んだときにあった条件というものからなかなか頭を切り換えられないわけです。つまり、自分の経験からこういうことができないのは問題だとなるんです。このところワープロが急速に普及してきて、今後は漢字は選べるけれど書けないということが起こってくるでしょう。そうしたときに、やはり漢字は昔流に書いて覚えるというのがひとつの考え方ですが、漢字は選べればいいというのももうひとつの考え方だと思います。ワープロの場合、どちらでいくのか決めかねていると思いますが、電卓の

場合は長い割り算などはやらなくてよいのではないか。原理さえわかっている電卓にまかせればだいたいはすむと私は思うのです。

深谷 先生のおっしゃることをうまく伸ばしていくと、知識の量のかたまりを何がなんでも小中高校で覚えなければならないということは解決しますね。

波多野 親がそののころをわかってくれると、受験のために勉強している子どもに多少同情的な見方ができるのですが、今はまだ親がどうしても知識のかたまりを頭の中につめこむことが必要であり、それをしないのはなまけものと思っているのですね。そこが子どもにとって不幸だし、親もある種の強迫観念から抜け出せないところがあると思います。世の中には皆ができればいけないことがあり、また、10人に1人でできればいいことがある。もうすこし高度なもので100人に1人でできればいいものもあって、あとはお互いに助けあうことを考えたほうがいいのではないのでしょうか。たとえば、会社ではわからないことがあると人に聞きますね。しかし学校では1人で解かなければいけない、道具を使ってはいけない、書物を見てはいけないとか、いろいろな制限を加えてやっている。これはちょっと不自由すぎるのではないのでしょうか。そこをすこしゆるめることができれば、子どもの有能さも増してくるし、有能さが増してくるということは、ある意味では学ぶ意欲もでてくるのではないかと思います。

知能の考え方

深谷 アメリカの学校ではチームでディスカッションしながら学ぶというのをよくやっていますが、見ていると、子どもたちが実に楽しそうに勉強していますね。

波多野 チームで学ぶというようなことは、本当は日本のほうが得意だと思うのです。たとえば、企業レベルでは日本の作業はチームワーキングでやっていますし、日本の企業では担当がいなくてもある程度の答えが返っ

てきます。アメリカの企業だと担当がいなければ担当がいるときに連絡せよという返事が多いですね。そうしたことから考えても日本の学校ではもっとグループワークがあってもいいと思うのですが、受験のために学びが個人化されてしまって、人と一緒にやる楽しさをうばってしまっています。これはもったいないことですね。

深谷 心理学のご専門からみて、学び上手とか好奇心というときには、知能は関係ないものですか。

波多野 知能の考え方も最近変わってきました。サルの知的な能力を研究している人たちが言っていることなのですが、サルの能力は仲間と何かすることから派生してきて、それがだんだん物を扱うときにも適用されるようになってきたのではないかと。もともと知能というのはほかのサルとコミュニケーションするか、協力するか、逆に自分がみつめてきたものをほかのサルに取られないようにするにはどうしたらよいかとか、そのようなことの中で伸びてきたのではないかと。つまり、物を扱うためにあった知能が对人的にも使われるようになったというのは逆なのではないかという見方がでてきました。

もうひとつ、今の人工知能などもそうなのですが、知能というのは頭の中にしまわれていて、頭の中だけで問題が解けるということが尊いと考えられていたのですが、実は頭の中だけで解けることは少なく、大抵のことは頭の中にある知識を使い、外界と相互作用しながら解いていくという考え方がでてきています。ですから、知能も個人をとりまくまわりと、個人の頭の中にあるものの相互作用としてみていったほうがいいのではないかと。この考え方が強くなったのです。私たちが10年ほど前に言っていたのは、知能より知識が大事だということでした。つまり、熟達が大抵であると言っていたのですが、このごろはさらに変わってきて、熟達というのは専門家の仲間入りをすることである。専門家の仲間入りをすることの中には、たとえば、こ

のことは深谷先生にお聞きすればいいということを知っていれば、私自身は知らなくても、私が知っていることと同じであると考えられるようになってきました。

それから問題を解く場合に、頭の中だけでやっておらず、たとえば、メモをとるとか、人に話をしてみるとかしているうちにわかってくる。知能というのは孤立した人間の頭の中にあるものではないのです。コンピュータの場合、手書きの文字は読めないなど、出入力のところに問題がありますが、人間はその点も得意なのだから、頭の中と出入力があわさって、知能というものを構成しているのではないか。そうすると、知能の考え方もかわってきます。たとえば、昔みたいにIQがいくつないと成功できないという考えは非常に時代遅れになってきたと思います。

一斉授業と徒弟制度

深谷 学び方には初級、中級、上級とかいうものがあるものなのですか。

波多野 まったくないとはいえないと思います。はじめは獲得したものが具体的な場面とむすびついていますので、場面が違えばはじめからやりなおさなければならない。しかしいろいろな場面を経験しますと、学び方の定石みたいなものがわかってきます。もし中級があるとすれば、中級は定石化していくというところで、そのもっと上になると、定石くずしみたいなことができるようになってくるのではないのでしょうか。ただこれはまだあまりよくわかっていません。一方でシンキングスキル（考え方を育てる技術）をうまく教えられるかという人たちがいます。しかし、シンキングスキルをとりだして教えるのはたぶん駄目で、それを具体的なプロジェクトをやりながらだんだん身につけていく方がいいのではないかとわれています。

深谷 その理論でカリキュラムチャート（学習内容の要素表）まではいっていないのですか。



波多野 いません。カリキュラムチャートを作っているようなものはだいたい思考の中でも低次のところなんですね。本当に重要なところはチャート化することがむずかしいか、あるいはチャート化できないものか、そのへんはわかりませんが、いずれにせよ、今うまくいっているものは、むしろふつうの教科の授業のような形態をとっているものです。同時に、昔の徒弟制度がみなおされてくるわけです。つまり、ちょっと進んだ人がやっているのを見るときか、自分が行き詰まったときに先輩が何か一言でも言ってくれればと解決する。そうしているうちに、だんだん学び上手になっていくのではないのでしょうか。

深谷 いわゆる、いい意味の昔の私塾、たとえば慶応義塾なり適塾というのはそういうものだったと思います。先生のおっしゃっていることは教育の基本的な部分にもういちど戻ろうという考え方ですね。

波多野 一斉授業になって、先生が出来合いの知識を伝える。それも大勢に伝えられるから効率がいいのだとっていたやり方にかなり限界を感じるようになってきました。ですから、今後学校の先生は教える人というよりむしろコーチみたいな存在になり、子どもたちが何か困ったときに助けてあげることができるようになる必要があるという人もあります。これはまさしく、適塾の精神であるのかもしれない

せん。

深谷 コーチというのはカウンセラーとはやり方がちがいますか。

波多野 カウンセラーというのは、私たちの概念では基本的に知識は与えない、本人が語って、そのはね返りを受けて伸びていく。一方、コーチのほうはもうすこし積極的に子どもにかかわり、励ますときは励ましたり、ここだったらこういうことをやってみたらと学び手のイニシアチブを重視しつつ、指導するという要素を含んでいると思います。つまり、一斉授業の教師とカウンセラーの間にく

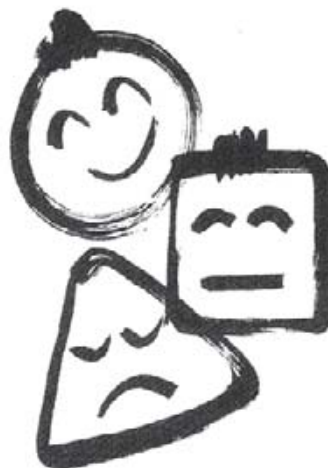
るような存在です。

昔の徒弟制度には悪いところはもちろんありますが、いいところもあったのに、一斉授業になったときにこういうやり方を捨ててしまったのではないのでしょうか。ですから、そういうところをもう一度、うまく学校の中にとりもどせないかと考えている人もいます。また、いい授業をみていると、その中にはそういう要素が結構含まれていると思います。

深谷 本日は大変貴重なお話をいただきありがとうございました。

〔対談を終えて〕

波多野教授が生涯学習の必要性を説いた論文を読んだことがある。心理学者がどうして生涯学習を論じるのか、奇異に感じた。しかし、話し合いを重ねるうちに、波多野教授が生涯体系の中に学習を位置づけている背景を理解できた。波多野教授の学校論は理想追求的で、現実の学校になじみにくい部分があるかもしれない。しかし、指摘された内容はきわめて正しい。それだけに、学校を理想に近づけていく努力が必要だと思った。



文献紹介

『人はいかに学ぶか』

波多野誼余夫・稲垣佳世子著『人はいかに学ぶか』（中公新書）から「第8章 知識があるほど学びやすい」（P.137～P.139、P.146～P.152）を抜粋しました。

エキスパートの強み

一般に、知識を増していくやり方は、大きく分けて二つある。料理を例にとると、ひとつは、他人の話を聞いたり、料理に関する本を読んだりして、他者の見出した知識を摂取する（自分のものにする）、という形のものである。これは、一見したところ「記憶」にすぎないように見えるが、実はそうではない。人間は、その意味のある程度理解することなしに、手続きをそのままそっくり覚えこむことはきわめて困難だし、また覚えたとしても、それだけでは応用がきかない。他人の調理法に関する知識を摂取する、といっても、その意味を一応は理解していなくてはならないのだ。たとえば、シチューなどの煮込み料理では、なぜはじめに肉をいためておくのか、そのわけを理解していれば忘れにくいし、応用もききだろう。

知識を増していくもうひとつのやり方は、みずから新しい料理ないしは調理法を工夫する、というものである。つまり問題解決による新しい知識の創造という形をとる。

ところが、他人のもつ知識を摂取するにせよ、問題解決により新しく知識を創造するにせよ、その領域に関する豊かで、よく構造化された既有知識なしには簡単にはいかない。

具体的な事実のほうはあとでくわしく見るとして、原理的にいっても、意味を理解するというのは、新しく与えられた情報と、今までもっていた知識との間に整合的な関係を見つけることである。今まで知っていたことのひとつのバリエーションとして新しい情報が位置づけられる場合もあるし、今まで知っていたことから、なるほどそれはうま

くいきそうだといった形で、新しく与えられた情報の正当化が行われる場合もあるだろう。しかし、いずれにせよ、与えられた情報を意味あるもの、「たしかにそうだ！」と思えるものにしてくれるのは、認知的制約として働く既有知識なのである。したがって、他人の持つ知識を効果的に摂取するには、もっている知識が豊かで、しかも場合に応じて速やかにとり出せることが必要になる。

問題解決による新しい知識の創造のほうはどうか。ここでも既有知識の働きが非常に重要だというのが、心理学のみならず、計算機に人間並みの知能をもたせたいと努力してきた人工知能の研究者たちが一致しているところである。われわれが取り組む問題らしい問題というのは、ほとんどの場合、あとでいわれれば、なるほどそうかと思うような隠された制約条件があったりするし、問題を、与えられたままの形でなく解きやすい形に変換するための知識がないと手がつけられない、といったことも少なくないからである。

このように考えると、エキスパート、すなわちその分野に関して豊かでしかもよく構造化された知識をもっている人は、同一の状況におかれていたときでさえ、その分野では、初心者に比べ効果的に学ぶことができ、知識をますます豊富にしていくことが可能だということになる。

加えて、エキスパートは、自分の得意とする分野についてたえず有能さを増していきたいという強い動機づけをもっていることが多いから、その分野での知識の追求を他のことに優先させる傾向がある。いわば領域固有の高い能動性をもっている。この結果として、エキスパートはますますエキスパートになっていく。彼らはその分野では、

たしかに有能な学び手だ、ということになるのである。

日常生活においては、人は誰でもなにかのエキスパートになることができる。いや、逆にいうと、くり返しやってもエキスパートになれないようなことは、大体あきらめて他の人に肩代わりしてもらおうことが多いのではなかろうか。その意味で人びとが日常生活でくり返し取り組んでいるのは、その人が得意とする分野のことであるのが普通だろう。

日常生活で人びとが有能にふるまい、しかも効果的に学習しているひとつの理由は、彼らが主にもともと自分が熟達している分野について、いっそう学ぼうとするからである。この意味で日常生活は、かつての「共通一次」のように、何もかも一通りできなくてはならないといった学習場面とははなはだしく異なる。好き嫌いや、得意・不得意と関係なしに、与えられたことについて学ばなければならないという事態ではないのである。

(中略)

得意の分野を使つての類推

エキスパートというのはある特定の分野でのエキスパートであるから、彼が他の分野で有能であるかどうかはまったくわからない。しかしある分野についてきわめて豊かな知識をもっている人は、その知識を他の分野に転用できる場合も少なくない。よく知っている領域についての知識を転用することによって、いま問題になっている新しい目標領域に適用しうる知識を生みだすことを類推とよぶが、エキスパートは多くの場合、自分の得意とする分野を使つて類推を行うことができるらしい。

たとえば、釣りが趣味で釣りのことにくわしい人が、入社して入ったセールスの世界で販売成績をあげられず悩んだとき、先輩の、「君、セールスは釣りのようなものだよ」の一言で開眼した、という話は、それをよく物語っている。その人にとっては、釣りの世界での知識をセールスの世界に転用することによって、顧客や待つことなど

の意味が、瞬間的にピタッとわかったのである。

家庭で金魚を飼い、金魚のことにはくわしい子どもが、カエルやカメなどの未知の場面での反応について聞かれたとき、金魚についての知識を使つて考える傾向があることは、すでに第2章で述べた。これも、得意な分野を使つての類推の例だといえよう。

得意な分野はふつう、趣味や職業によって、その人ごとに異なっている。しかし、ある特定の分野が多くの人に親しまれ、したがって多くの人が、その分野の話になぞらえて新しい領域の事象を理解しうることもある。幼児の示す擬人化による類推は、その好例である。

幼児といえども、人間のふるまいについてはよく知っている。得意の分野だといつてもよいだろう。そこで、人間以外の動物や植物が、さまざまな未知の場面で、どのように反応するかを予測する際、幼児はしばしば、この人間についての知識を使つて類推することを稲垣・波多野は報告している⁽¹⁸⁾。

生物の場合には、とくにその存在の基本的様式、たとえば、環境からものを取り入れ、それを組織の形成や維持に利用し、不用なものを排泄する、といった点や、生まれ、発達し、やがて死んでいくといった点において多少とも人間に似かよっているために、この擬人化による類推は、かなりうまく働くと思われる。

たとえば、「バッタに餌を1日に10回やるとどうなるか」と聞かれた幼稚園の6歳児は、こう答えている。「バッタだって人間と同じだからダメだと思ふな。人間だって運動しないで食べてれば死んじゃうでしょ。バッタだって運動しないで食べてると、お腹がパンクして死んじゃうもん」と。

得意な領域を使つての類推では、どの領域の知識を使つて考えたらよいか、その領域をえらぶのに細心の注意を払うかわりに、今問題になっている領域を得意な領域へと対応づけ、うみ出された答え(当該の事象やふるまい)が可能かどうかを別の知識を使つて吟味するところに大きなエネルギーを注ぐ。

擬人的類推の例でいえば、よく知らない生物の話だったら、まず人間になぞらえて考える。そし

て得られた結論を、その目標領域である生物について、多少とも個別にもっている知識に照らして吟味する。これによって、荒唐無稽な、あるいは極端に我田引水の誤りをできるだけ減らそうとするのである。

たとえば、幼児でも植物が歩かないことはよく知っているし、人間以外の動物が人間と同じことばをしゃべるわけではないことも知っている。だから、「火事になったときどうするか」と問われれば、人間なら「逃げる」とか「水をかけて消そうとする」「火事だ!」と叫ぶなどの反応が出てくるのに、チューリップや檻に入ったウサギに対しては、まずこういう反応はでてこない。その代わりに、「チューリップは黒こげになる」「ウサギは死んじゃう」という反応や、「ほかの人が水をかけてチューリップ（ウサギ）を助けてあげる」という反応をするのである。

これは、人間との類推によって出てきた答えが、その生物について個別にもっている知識に反するときには、幼児はその答えをそのまま利用することはせずに、もっと別の（人間がしそうな）行為で、チューリップやウサギにも転用できそうなものはないかと探したり、擬人化をあきらめてほかの解決法を模索したりする結果ではないかと思われる。

規則の発見・適用・拡張

これまで見てきたのはすべて、エキスパートがもっている豊かでしかもよく構造化された知識が、さらに多くの知識を獲得するうえで認知的制約として働くということであった。

エキスパートとよべるほどの水準にまで到達しなくても、ある文化のなかで比較的良好に用いられる道具や記号体系などに関して経験をつむと、それらについての知識が蓄積され、そして似たような道具や新しい記号の処理をおおいに促進する、ということが知られている。これも一種の類推と見ることができよう。これはやはり日常生活における学習促進の一般的様相であると思われるので、以下にその例をとりあげてみる。

たとえば日本語では、漢字まじりかな表記が標準的な正書法であって、約2000もの漢字が常用漢

字として日常生活で用いられている。実際にわれわれが目にする漢字は2000どころのなほではなく、1万に近いと考えられる。

2000というのは、外国人それも漢字をまったく知らない人にとっては、ほとんど絶望的な数字であるといつてよい。日本語を話すのはともかく、読み書きができるようにというのは、なんと目標が遠すぎる、というのが大方の外国人の偽らざる感情であると思われる。

さらに悪いことには、漢字は形態的に複雑なばかりでなく、発音の上でもなかなかめんどうである。というのは、一つの漢字が通常少なくとも二つの読み（音読と訓読）をもっているし、なかには「生」という字のように七つもの異なった読みがある場合さえある。他方、多くの漢字が同一の発音を共有しているので、語を漢字で表記する際には、その発音をもつ漢字のどれを書くか（つまり当て字をさけるか）を決めるのがむずかしい。

こういった話をきかされると、たいていの外国人はおじけづいて日本語を学ぶのをよしてしまうが、しかしこの場合にも、困難なのは学習のはじめの段階であって、数百の漢字を学んだあたりから以後の学習はずっと容易になっていくらしい。

たとえば日本人なら誰でも知っているように、その漢字がおおまかにどういったカテゴリのものを表わすかは、左側の半分つまり「偏」を見ればわかるし、その漢字の発音はしばしば右側の「つくり」によって推論することができる、といった事情があるからである。たとえば「銅」は金属に関係があり、「ドウ」と読む、「泳」は水に関係があり、「エイ」と読むように、である。

さらに、それぞれの漢字は原型的な意味をもつから、それが貯蔵されてくると、われわれは新しい漢字語であっても、その意味をかなりの程度的に推論することが可能になってくる。たとえば白血病という三つの字からなる漢字語を見れば、小学生であっても「血が白くなる病気」ではないか、といった程度の推論をすることができるであろう。

筆者らの観察した4歳児の例をあげると、彼は「停電」という言葉をはじめて習ったときに、その「停」の字が「停車」の「停」と同じであるということに気づき、

そのことを満足そうに指摘した。もちろん彼は、停という字が、ものが止まるということの意味する、というところまで言語化できたわけではないが、もし彼に「停ガス」という単語を与えたなら、それは「ガスがこなくなること」だといった推論を行うことは可能であったと思われる。

漢字語に関しては複合規則というものがある。たとえば二つの名詞を表わす漢字を組み合わせつくられた漢字語（これをXYと表わしておこう）の意味で一番多いのは、「Xの性質を持つ（あるいはXに関係した）Yの仲間」というものである。「鉄人」、「馬車」、「水死」、「桜貝」などはすべてこの例ということができる。

複合規則は個々の漢字（語）についての知識で

なくて、漢字語とはこういう（ようにして導かれる）意味をもつという、より抽象的な規則であるから、「メタ知識」とよぶこともできるであろう。われわれがもっている知識のかなりの部分は、こういった意味で一般的な性質をもつメタ知識であり、それが認知的制約としてわれわれの仮説や解釈の範囲を限定するのに役に立っているといえる。

こういったメタ知識もまた、やはり漢字を含む文をくり返し処理するなかで、帰納的に次第に獲得されていくことが多いと思われる。それがまた、知識を持った人びとがさらにより多くの知識をたやすく獲得するのを助けていることはいうまでもない。

お母さま方へ

アンケートのお願い

私共は、日ごろ、お母さま方がしつけをどのようになさっているのかをおうかがいたたく、次のような調査票を作成いたしました。

結果はコンピュータで処理いたしますので、あなたにも学校にもご迷惑をおかけすることは決してありません。お忙しいところ申し訳ございませんが、どうぞご協力くださいますようお願い申し上げます。

お手数ですが、用紙にご記入の上、封筒に入れてのりづけし、無記名のまま、お子さんに担任の先生までお持ちください。

（なお、お母さまにお答えいただけない場合は、日ごろ、お子さんのごめんどろをみられている方にご記入いただけましたら幸いです。）

静岡大学教授 深谷昌志
千葉県総合教育センター所員 中原美恵
文教大学女子短期大学部助教授 石川洋子

〈記入のしかた〉

（例）あなたは、月に何冊くらいの本を読みますか？

（もし3冊くらいだったら）

ほとんど読まない	1～3冊	4～5冊	それ以上
1	②	3	4

—このアンケート用紙をお持ち帰りになったお子さんについて、おうかがいします。—

① 現在までのところ、お子さんは、思い通りに育てているとお感じですか。

	思った以上に 育てられている	まあまあかなと 思う	あまりうまく いっていない	全く思い通りに いっていない
① 性格の面で……………	1	2	3	4
② 学力の面で……………	1	2	3	4
③ しつけの面で……………	1	2	3	4
④ 健康の面で……………	1	2	3	4

② 日ごろの子育てについて、少し具体的におうかがいします。次のような場面では、お母さまは、お子さんにどのように対応されていますか。

お子さんが	その場で 厳しく注意して なおさせる(叱る)	注意して なるべく やめさせる	一応注意は するが 大目に見るだろう	特に何も 言わないだろう
① 朝なかなか起きてこなかったら…	1	2	3	4
② 食事のときに嫌いなものを残し ていたら……………	1	2	3	4
③ 食事中、ひじをついたりして姿 勢が悪かったら……………	1	2	3	4
④ お茶わんに、ご飯粒をたくさん 残していたら……………	1	2	3	4
⑤ 「いただきます」や「ごちそう さま」のあいさつをしないとき…	1	2	3	4
⑥ 食事中、さかんにおしゃべりを していたら……………	1	2	3	4
⑦ テレビを見ながら食べていたら…	1	2	3	4
⑧ 洋服をだらしく着ていたら……	1	2	3	4
⑨ クツのかかとをふんで歩いてい たら……………	1	2	3	4
⑩ 脱いだ洋服を散らしてあったと き……………	1	2	3	4
⑪ 夜遅くまで起きていたとき……	1	2	3	4
⑫ 汚れたままの足で家にあがった ら……………	1	2	3	4
⑬ びしょびしょのまま、お風呂か らあがってきたら……………	1	2	3	4
⑭ クツを脱ぎちらしておいたとき…	1	2	3	4

お子さんが	その場で 厳しく注意して なおさせる(叱る)	注意して なるべく やめさせる	一応注意は するが 大目に見るだろう	特に何も 言わないだろう
⑫ 本や文房具をふんで歩いていたら………	1	2	3	4
⑬ エンピツや消しゴムをなくしたとき………	1	2	3	4
⑭ 宿題を終わらせないで遊んでいたら………	1	2	3	4
⑮ 自分で時間割をそろえることができなかつたら………	1	2	3	4
⑯ 机の上をぐちゃぐちゃにしていたら………	1	2	3	4
⑰ テストの点数がいつもより悪かったとき………	1	2	3	4
⑱ テレビゲームを長い時間やっていたら………	1	2	3	4
㉑ マンガやテレビに夢中で勉強しないでいたら………	1	2	3	4
㉓ 塾やおけいこをさぼったら………	1	2	3	4
㉕ 赤信号でも平気で道をわたっていたら………	1	2	3	4
㉗ 公園の花や木を折ったとき………	1	2	3	4
㉙ 公園の水道で水遊びをしていたら………	1	2	3	4
㉛ 自転車で、かなり速くに出かけたのがわかったとき………	1	2	3	4
㉝ 友だちとなぐり合いのケンカをしたとき………	1	2	3	4
㉟ 親に口答えを言ったら………	1	2	3	4
㊱ 電車の中で、走り回ったりしたとき………	1	2	3	4
㊳ デパートなどで大声で騒いだとき………	1	2	3	4
㊵ 近所の人にあいさつができなかったとき………	1	2	3	4
㊷ 帰宅時間を守らないで、遅くなったとき………	1	2	3	4

● 資料1 調査票見本 (母親)

- | | | | | |
|-------|------------------------------|-----------------------|--------------------------|-----------------|
| お子さんが | その場で
厳しく注意して
なおさせる(叱る) | 注意して
なるべく
やめさせる | 一応注意は
するが
大目にするだろう | 特に何も
言わないだろう |
|-------|------------------------------|-----------------------|--------------------------|-----------------|
- ㉔ 親に黙って、おこづかいで高い
ものを買ってしまったとき…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ㉕ 子どもが外でおやつを買って食
べていたら…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4

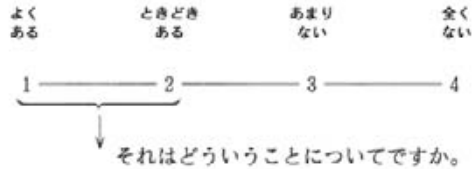
③ お母さまご自身は、しつけの面で、厳しいほうだと思われませんか。

- | | | | | | |
|--|-----------|-----------|----------|--------------|-------------|
| | とても
そう | わりと
そう | まあ
そう | あまり
そうでない | 全く
そうでない |
|--|-----------|-----------|----------|--------------|-------------|
- ① 小さいころから、かなり厳しく
(体罰も) しつけているほう…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
- ② けっこう細かいところまで、き
ちんと注意して育ててきている
ほう…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
- ③ 叱るよりもほめて育てるタイプ
の母親だ…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
- ④ 叱るのは苦手なほう…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
- ⑤ 結局子どもの言い分を通してし
まう甘い母親だ…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
- ⑥ 子どもが思い通りにならないと、
イライラしてしまうところがあ
る…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

④ それでは、しつけに関する次のような項目は、お母さま、お父さまのどちらがすることが多いと思われませんか。

- | | | | | | |
|--|--------------------|--------------------|---------------|--------------------|--------------------|
| | ぜったいに
母親が
多い | どちらかと
いえば
母親 | どちらとも
いえない | どちらかと
いえば
父親 | ぜったいに
父親が
多い |
|--|--------------------|--------------------|---------------|--------------------|--------------------|
- ① 言うことをきくまでねばり強く
注意する…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
- ② 子どもが納得するまでよく説明
する…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
- ③ ときには、びしっと体罰もする… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
- ④ 大きな声で叱る(どなる)…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
- ⑤ 気になることがあれば、すぐそ
の場で注意する…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
- ⑥ 気がついて黙っていることが
多い…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
- ⑦ 子どもが自分で考えられるよう
言葉をかける…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

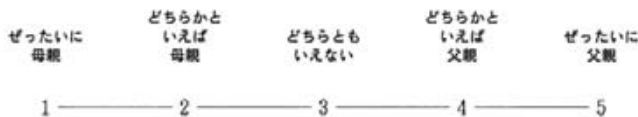
⑤ お子さんのしつけについて、ご両親で意見がくい違うことがありますか。



⑥ ご主人のお子さんへの対応について、お母さまは、次のようなことを感じられることがありますか。

- | | | | | | |
|--|-----------------|-----------------|----------------|----------------------|---------------------|
| | とても
そう
思う | わりと
そう
思う | 少し
そう
思う | あまり
そういう
ことはない | 全く
そういう
ことはない |
|--|-----------------|-----------------|----------------|----------------------|---------------------|
- ① お休みの日は、一緒に遊んでや
ってほしい…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
 - ② 父親から、びしっと言ってほし
いときになかなか言ってくれな
い…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
 - ③ 何かと子どもの要求を受け入れ
てしまうので困る…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
 - ④ 私(母親)が子どもを叱ってい
ても、父親が子どもの弁護をす
るので筋が通らないことがある… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
 - ⑤ 子育ては私(母親)にまかせっ
放しという感じである…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

⑦ お子さんにとって、お母さまとお父さまと、どちらがこわい存在だと思われますか。



⑧ お母さま自身の子ども時代のことについて、おうかがいたします。

① お母さまのご両親は、子どものしつけに厳しいタイプのほうでしたか、それとも、甘いほうでしたか。

- | | | | | | |
|--|---------------------|---------------------|---------------|--------------------|--------------------|
| | かなり
厳しいほう
だった | わりと
厳しいほう
だった | どちらとも
いえない | わりと
甘いほう
だった | かなり
甘いほう
だった |
|--|---------------------|---------------------|---------------|--------------------|--------------------|
1. お母さまのお母さま…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
 2. お母さまのお父さま…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

● 資料1 調査票見本 (母親)

② ご両親から厳しく叱られたときのごことで、一番強く印象に残っているのはどんなことですか。

ア) それは…………… 1. お母さまから叱られたこと

2. お父さまから叱られたこと

イ) どんなことで叱られたのですか。

[]

ウ) どんなふうに叱られたのですか。

[]

⑨ 次に、ほめることについておうかがいたします。お母さまは現在、どんなことでお子さんをほめていますか。

たいてい よく ほめている まあ とまどきは ほめている あまり ほめることは ない 全く ほめたことは ない

- ① 食事を残さず食べたとき…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ② 脱いだ洋服の始末や、おもちゃの後片づけがきちんとしてあったとき…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ③ 忘れ物をしないように時間割などの準備がきちんできたとき… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ④ 自分から進んで勉強したとき………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑤ テレビを見終わる時間を自分で守れたとき…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑥ 寝る時間を自分できちんと守れたとき…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑦ 友だちや兄弟にやさしくしているのを見たとき…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑧ 食事の片づけなど手伝いをしてくれたとき…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑨ テストでいい点数がとれたとき… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4

- | | たいてい
よく
ほめている | まあ
ときどきは
ほめている | あまり
ほめることは
ない | 全く
ほめたことは
ない |
|--|---------------------|----------------------|---------------------|--------------------|
| ⑩ 運動会などでいい成績がとれたとき…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑪ 学校の先生にほめられたとき…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑫ 近所の人とあいさつをしたり、きちんと話ができるとき…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑬ 電車の中でお年寄りに席をゆずったりなど、公共の場でよいことができたとき…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

Ⅹ もしよろしければ、次の項目にお答えください。

- ① このアンケート用紙をお持ち帰りになったお子さんは
小学校（ ）年生 （1. 男 2. 女）
- ② お子さんの人数（ ）名
- ③ お母さまの年齢
1. 20～24歳 2. 25～29歳 3. 30～34歳 4. 35～39歳
5. 40～44歳 6. 45～49歳 7. 50歳以上
- ④ お父さまの年齢
1. 20～24歳 2. 25～29歳 3. 30～34歳 4. 35～39歳
5. 40～44歳 6. 45～49歳 7. 50歳以上
- ⑤ お母さまのご職業
1. フルタイムの仕事 2. パートの仕事 3. 自営業 4. 自由業
5. 専業主婦 6. その他
- ⑥ お父さまのご職業
1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. 自由業 4. その他

——これで終わりです。長い間どうもありがとうございました。——

● 資料2 基礎集計表 (母親)

単位：サンプル数以外はパーセント

質問項目		全 体	性 別		学 年 別			
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年	
サンプル数		924						
① 思い通りに育っているか	性 格	1. 思った以上に育ってくれている	14.3	15.4	13.2	14.3	14.4	14.2
		2. まあまあかなと思う	76.9	75.0	78.8	76.1	76.3	78.1
		3. あまりうまくいっていない	8.3	9.0	7.5	8.8	9.0	7.1
		4. 全く思い通りにっていない	0.5	0.6	0.5	0.8	0.3	0.6
	学 力	1. 思った以上に育ってくれている	10.7	10.1	11.4	11.6	10.6	10.1
		2. まあまあかなと思う	64.0	61.6	66.6	60.9	64.4	65.9
		3. あまりうまくいっていない	22.4	23.8	20.9	21.1	24.2	21.4
		4. 全く思い通りにっていない	2.9	4.5	1.1	6.4	0.8	2.6
	し っ け	1. 思った以上に育ってくれている	7.1	7.2	7.1	7.5	6.3	7.8
		2. まあまあかなと思う	73.7	70.9	77.0	73.8	74.7	72.5
		3. あまりうまくいっていない	18.3	21.1	15.0	17.5	18.2	19.0
		4. 全く思い通りにっていない	0.9	0.8	0.9	1.2	0.8	0.7
	健 康	1. 思った以上に育ってくれている	42.8	39.5	46.4	38.9	43.2	45.5
		2. まあまあかなと思う	52.6	55.2	49.7	56.3	51.1	51.3
		3. あまりうまくいっていない	4.6	5.3	3.9	4.8	5.7	3.2
		4. 全く思い通りにっていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
② 子 育 て の 対 応	な朝起きてこ	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	18.0	17.9	18.2	19.5	16.4	18.8
		2. なるべくやめさせる	60.0	59.3	60.7	59.0	61.7	58.8
		3. 一応注意はするが大目にする	18.4	19.1	17.6	19.1	17.8	18.5
		4. 特に何も言わない	3.6	3.7	3.5	2.4	4.1	3.9
	を嫌いなもの	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	12.8	10.9	14.8	11.4	12.1	14.7
		2. なるべくやめさせる	60.4	62.7	57.8	56.8	61.6	61.8
		3. 一応注意はするが大目にする	24.3	24.3	24.4	28.5	24.1	21.2
		4. 特に何も言わない	2.5	2.1	3.0	3.3	2.2	2.3
	勢食事中、姿	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	66.1	64.1	68.1	67.3	67.8	62.7
		2. なるべくやめさせる	31.6	34.3	28.7	30.3	30.5	34.1
		3. 一応注意はするが大目にする	1.9	1.4	2.5	2.0	1.4	2.6
		4. 特に何も言わない	0.4	0.2	0.7	0.4	0.3	0.6
	すご飯粒を残	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	50.7	47.9	53.6	49.2	49.3	53.4
		2. なるべくやめさせる	42.0	46.1	37.6	42.4	42.7	41.0
		3. 一応注意はするが大目にする	6.8	6.0	7.6	7.6	7.7	4.9
		4. 特に何も言わない	0.5	0.0	1.2	0.8	0.3	0.7
	つ食事をしないさ	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	37.2	35.3	39.4	32.7	36.4	41.9
		2. なるべくやめさせる	46.9	47.7	45.8	48.4	49.6	42.3
		3. 一応注意はするが大目にする	11.9	12.2	11.6	14.1	11.0	11.2
		4. 特に何も言わない	4.0	4.8	3.2	4.8	3.0	4.6
	や食事中おし	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	12.7	12.1	13.4	14.1	12.0	12.4
		2. なるべくやめさせる	41.1	42.0	40.1	43.8	38.0	42.7
		3. 一応注意はするが大目にする	35.7	33.6	38.0	32.9	40.4	32.2
		4. 特に何も言わない	10.5	12.3	8.5	9.2	9.6	12.7
	がテレビを見る	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	24.9	25.1	24.8	31.3	24.6	20.3
		2. なるべくやめさせる	36.7	35.7	37.8	35.4	36.9	37.6
		3. 一応注意はするが大目にする	30.0	31.7	28.0	27.6	30.6	31.0
		4. 特に何も言わない	8.4	7.5	9.4	5.7	7.9	11.1
し洋服をだら	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	37.5	33.2	42.4	35.5	36.3	40.5	
	2. なるべくやめさせる	52.6	55.9	48.8	54.7	53.6	49.7	
	3. 一応注意はするが大目にする	9.6	10.3	8.8	9.8	9.6	9.5	
	4. 特に何も言わない	0.3	0.6	0.0	0.0	0.5	0.3	

質問項目		全 体	性 別		学 年 別		
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年
とクツのふむか	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	58.8	56.7	61.0	59.7	58.9	57.6
	2. なるべくやめさせる	36.7	39.0	34.1	35.4	37.2	37.2
	3. 一応注意はするが大目にみる	4.1	3.9	4.4	4.1	3.6	4.9
	4. 特に何も言わない	0.4	0.4	0.5	0.8	0.3	0.3
洋服を散らしたとき	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	39.3	34.0	45.2	34.7	37.8	44.8
	2. なるべくやめさせる	48.2	50.2	46.1	52.0	50.6	42.5
	3. 一応注意はするが大目にみる	11.7	15.6	7.3	12.5	11.1	11.7
	4. 特に何も言わない	0.8	0.2	1.4	0.8	0.5	1.0
夜遅くまで起き続けている	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	29.2	26.6	32.0	33.7	29.4	25.2
	2. なるべくやめさせる	58.9	59.7	58.1	54.7	61.9	58.7
	3. 一応注意はするが大目にみる	11.5	13.1	9.7	11.6	8.2	15.4
	4. 特に何も言わない	0.4	0.6	0.2	0.0	0.5	0.7
家汚れたが足で	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	58.9	59.0	58.6	57.2	55.1	64.6
	2. なるべくやめさせる	34.3	34.2	34.5	35.1	38.6	28.5
	3. 一応注意はするが大目にみる	6.5	6.8	6.2	7.7	6.0	6.2
	4. 特に何も言わない	0.3	0.0	0.7	0.0	0.3	0.7
らましよびしよ	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	50.0	49.5	50.6	45.4	49.2	54.5
	2. なるべくやめさせる	42.8	43.1	42.5	45.3	45.8	37.3
	3. 一応注意はするが大目にみる	6.8	7.2	6.2	8.9	4.7	7.5
	4. 特に何も言わない	0.4	0.2	0.7	0.4	0.3	0.7
ちクツを脱ぎ	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	26.9	23.7	30.5	21.4	28.3	29.8
	2. なるべくやめさせる	54.7	56.5	52.7	56.8	53.7	54.1
	3. 一応注意はするが大目にみる	16.3	17.7	14.7	20.2	15.8	13.8
	4. 特に何も言わない	2.1	2.1	2.1	1.6	2.2	2.3
本をふむ	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	69.9	68.4	71.4	67.1	72.2	69.3
	2. なるべくやめさせる	27.3	29.5	24.9	29.3	25.3	28.1
	3. 一応注意はするが大目にみる	2.5	1.9	3.2	2.8	2.2	2.6
	4. 特に何も言わない	0.3	0.2	0.5	0.8	0.3	0.0
なくす	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	10.6	9.9	11.4	7.6	11.1	12.4
	2. なるべくやめさせる	54.4	55.2	53.6	57.5	53.3	53.3
	3. 一応注意はするが大目にみる	30.0	30.2	29.7	30.5	31.5	27.8
	4. 特に何も言わない	5.0	4.7	5.3	4.4	4.1	6.5
で遊ぶしない	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	29.8	28.5	31.3	28.8	29.2	31.3
	2. なるべくやめさせる	47.7	46.9	48.5	52.4	47.0	44.6
	3. 一応注意はするが大目にみる	16.8	18.0	15.4	13.6	17.2	18.9
	4. 特に何も言わない	5.7	6.6	4.8	5.2	6.6	5.2
え時間割をそ	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	42.5	38.7	46.7	35.1	43.9	47.0
	2. なるべくやめさせる	40.8	42.1	39.4	46.9	39.6	37.2
	3. 一応注意はするが大目にみる	8.5	10.0	6.8	8.6	9.4	7.4
	4. 特に何も言わない	8.2	9.2	7.1	9.4	7.1	8.4
ち机の上がやく	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	22.0	19.1	25.2	19.7	20.8	25.4
	2. なるべくやめさせる	50.4	48.2	53.0	49.4	51.1	50.5
	3. 一応注意はするが大目にみる	23.9	29.2	17.9	28.1	24.3	19.9
	4. 特に何も言わない	3.7	3.5	3.9	2.8	3.8	4.2
数テストの点	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	3.7	3.9	3.4	2.8	4.9	3.0
	2. なるべくやめさせる	28.1	26.9	29.4	27.1	25.4	32.1
	3. 一応注意はするが大目にみる	51.8	53.4	50.2	51.8	54.9	48.2
	4. 特に何も言わない	16.4	15.8	17.0	18.3	14.8	16.7
をテレビゲーム	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	41.7	42.9	40.2	40.4	43.0	41.1
	2. なるべくやめさせる	48.8	48.4	49.4	49.8	48.7	48.2
	3. 一応注意はするが大目にみる	8.3	6.8	9.9	8.2	6.6	10.4
	4. 特に何も言わない	1.2	1.9	0.5	1.6	1.7	0.3

● 資料2 基礎集計表 (母親)

質問項目		全 体	性 別		学 年 別			
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年	
2	でマンガに夢中 で勉強しない	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	37.4	37.0	37.9	35.3	38.6	37.6
		2. なるべくやめさせる	46.4	44.5	48.4	44.6	48.2	45.7
		3. 一応注意はするが大目にする	13.3	15.4	10.9	15.7	10.7	14.4
		4. 特に何も言わない	2.9	3.1	2.8	4.4	2.5	2.3
	こをさぼる 熱やおけい	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	39.7	39.9	39.6	35.8	36.5	46.8
		2. なるべくやめさせる	44.2	43.8	44.5	45.4	44.9	42.0
		3. 一応注意はするが大目にする	13.2	12.9	13.6	17.1	13.8	9.5
		4. 特に何も言わない	2.9	3.4	2.3	1.7	4.8	1.7
	赤信号で道 をわたる	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	87.1	86.7	87.5	88.2	87.1	86.0
		2. なるべくやめさせる	11.8	12.1	11.6	10.6	12.4	12.3
		3. 一応注意はするが大目にする	0.7	0.6	0.7	0.8	0.5	0.7
		4. 特に何も言わない	0.4	0.6	0.2	0.4	0.0	1.0
	折る花や木を	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	79.2	78.4	80.2	75.2	79.2	82.5
		2. なるべくやめさせる	18.8	20.0	17.5	22.8	19.4	14.9
		3. 一応注意はするが大目にする	2.0	1.6	2.3	2.0	1.4	2.6
		4. 特に何も言わない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	遊び水道で水	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	44.4	46.1	42.6	41.4	42.9	48.9
		2. なるべくやめさせる	41.9	40.2	43.9	43.0	45.2	37.0
		3. 一応注意はするが大目にする	11.0	12.0	9.8	11.9	9.4	12.1
		4. 特に何も言わない	2.7	1.7	3.7	3.7	2.5	2.0
くに自転車で行く	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	33.3	29.8	37.3	34.1	34.2	31.6	
	2. なるべくやめさせる	42.5	41.2	43.9	42.7	42.8	41.8	
	3. 一応注意はするが大目にする	20.6	24.5	16.2	19.1	20.5	21.9	
	4. 特に何も言わない	3.6	4.5	2.6	4.1	2.5	4.7	
のケンカい なくり合い	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	33.9	29.4	39.0	35.4	34.6	31.9	
	2. なるべくやめさせる	44.0	44.3	43.5	39.9	46.9	43.6	
	3. 一応注意はするが大目にする	18.6	22.5	14.2	20.2	16.3	20.1	
	4. 特に何も言わない	3.5	3.8	3.3	4.5	2.2	4.4	
親に口答え	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	46.3	41.1	52.1	41.6	48.0	48.1	
	2. なるべくやめさせる	39.1	42.7	35.0	39.2	38.6	39.6	
	3. 一応注意はするが大目にする	12.9	14.5	11.1	16.0	11.8	11.6	
	4. 特に何も言わない	1.7	1.7	1.8	3.2	1.6	0.7	
走り回る 電車の中で	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	79.1	79.7	78.4	77.0	77.4	82.9	
	2. なるべくやめさせる	19.6	18.8	20.5	21.8	21.8	15.1	
	3. 一応注意はするが大目にする	1.2	1.5	0.9	0.8	0.8	2.0	
	4. 特に何も言わない	0.1	0.0	0.2	0.4	0.0	0.0	
声でさわぐ デパートで	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	70.1	70.4	69.9	70.5	68.4	71.9	
	2. なるべくやめさせる	26.8	26.4	27.1	27.5	28.5	24.1	
	3. 一応注意はするが大目にする	2.7	3.0	2.3	1.2	2.8	3.7	
	4. 特に何も言わない	0.4	0.2	0.7	0.8	0.3	0.3	
きかない 近所の人 あいさつで	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	32.7	31.5	34.0	26.5	30.5	40.4	
	2. なるべくやめさせる	60.1	61.3	58.9	62.7	63.5	54.1	
	3. 一応注意はするが大目にする	6.5	6.8	6.2	9.2	5.7	5.2	
	4. 特に何も言わない	0.7	0.4	0.9	1.6	0.3	0.3	
なる 留守時間 守らす遅く	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	55.0	54.0	56.0	55.0	53.9	56.0	
	2. なるべくやめさせる	39.5	39.0	40.1	40.2	41.2	37.0	
	3. 一応注意はするが大目にする	5.2	6.4	3.9	4.4	4.9	6.3	
	4. 特に何も言わない	0.3	0.6	0.0	0.4	0.0	0.7	
を 高いもの おこつかい	1. 厳しく注意しておさせる(しかる)	63.3	63.4	63.0	61.1	65.0	62.8	
	2. なるべくやめさせる	28.3	28.4	28.2	30.4	27.3	27.9	
	3. 一応注意はするが大目にする	7.0	6.5	7.6	6.5	6.9	7.6	
	4. 特に何も言わない	1.4	1.7	1.2	2.0	0.8	1.7	

質問項目		全 体	性 別		学 年 別			
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年	
② 子育ての対応	外で買って来たおやつ	1. 厳しく注意してなおさせる(しかる)	15.3	12.4	18.6	17.3	16.3	12.5
		2. なるべくやめさせる	46.4	47.3	45.4	49.8	45.3	45.0
		3. 一応注意はするが大目にする	27.3	28.3	26.1	25.7	26.7	29.3
		4. 特に何も言わない	11.0	12.0	9.9	7.2	11.7	13.2
③ しつけは厳しいか	小さい頃から厳しから	1. とてもそう	5.5	5.7	5.2	5.6	4.6	6.5
		2. わりとそう	34.7	33.5	36.0	29.5	39.3	33.4
		3. まあそう	34.9	33.8	36.2	34.6	33.6	36.8
		4. あまりそうでない	23.8	26.2	21.2	28.3	21.7	22.7
		5. 全くそうでない	1.1	0.8	1.4	2.0	0.8	0.6
	細かいところまできちんとして注意	1. とてもそう	5.2	5.7	4.6	4.8	4.3	6.5
		2. わりとそう	29.0	26.8	31.4	24.7	29.9	31.4
		3. まあそう	36.7	37.4	36.1	37.8	38.0	34.4
		4. あまりそうでない	27.4	28.1	26.5	30.3	26.4	26.1
		5. 全くそうでない	1.7	2.0	1.4	2.4	1.4	1.6
	めしかるよ！ほ	1. とてもそう	2.9	1.8	4.1	2.8	1.9	4.2
		2. わりとそう	12.5	14.4	10.5	13.7	12.7	11.4
		3. まあそう	27.6	25.1	30.5	27.7	26.2	29.3
		4. あまりそうでない	52.7	53.2	51.9	51.4	56.2	49.2
		5. 全くそうでない	4.3	5.5	3.0	4.4	3.0	5.9
	手なほるのは苦しいか	1. とてもそう	1.5	1.4	1.6	2.8	1.1	1.0
		2. わりとそう	8.6	8.9	8.3	9.3	7.6	9.2
		3. まあそう	28.3	26.9	29.8	27.5	29.0	28.0
		4. あまりそうでない	47.0	48.5	45.4	46.6	47.4	47.0
		5. 全くそうでない	14.6	14.3	14.9	13.8	14.9	14.8
子どもが甘言をい分	1. とてもそう	1.1	1.4	0.7	0.4	0.8	2.0	
	2. わりとそう	6.9	7.8	5.9	7.2	6.8	6.8	
	3. まあそう	24.3	23.0	25.8	25.2	23.0	25.1	
	4. あまりそうでない	54.2	55.5	52.8	52.0	56.7	53.1	
	5. 全くそうでない	13.5	12.3	14.8	15.2	12.7	13.0	
思い通りに通らないとイライラ	1. とてもそう	7.3	7.0	7.8	6.4	7.9	7.5	
	2. わりとそう	22.7	21.9	23.5	24.4	22.3	21.8	
	3. まあそう	40.0	42.0	37.6	34.4	42.6	41.2	
	4. あまりそうでない	25.5	24.8	26.3	28.4	23.9	25.0	
	5. 全くそうでない	4.5	4.3	4.8	6.4	3.3	4.5	
④ 母親と父親のどちらが多いか	強く注意	1. ぜったいに母親が多い	19.1	17.2	21.2	20.5	19.3	17.7
		2. どちらかといえば母親	45.7	43.9	47.9	41.7	48.1	46.3
		3. どちらともいえない	21.2	23.4	18.7	19.7	21.8	21.6
		4. どちらかといえば父親	11.8	12.6	10.8	14.5	9.1	12.8
		5. ぜったいに父親が多い	2.2	2.9	1.4	3.6	1.7	1.6
	よく納得するまで説明	1. ぜったいに母親が多い	14.8	15.1	14.4	22.2	13.4	10.5
		2. どちらかといえば母親	35.2	30.9	40.2	24.6	40.0	38.1
		3. どちらともいえない	23.2	24.0	22.2	25.0	21.4	23.9
		4. どちらかといえば父親	22.2	24.2	20.0	22.2	22.5	21.9
		5. ぜったいに父親が多い	4.6	5.8	3.2	6.0	2.7	5.6
	びしっと体罰	1. ぜったいに母親が多い	12.2	11.0	13.5	11.5	13.4	11.4
		2. どちらかといえば母親	29.8	25.8	34.4	27.5	33.6	27.4
		3. どちらともいえない	26.4	26.4	26.4	30.7	24.5	25.1
		4. どちらかといえば父親	21.5	23.9	18.8	18.0	20.8	25.1
		5. ぜったいに父親が多い	10.1	12.9	6.9	12.3	7.7	11.0

● 資料2 基礎集計表（母親）

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	4年	5年	6年		
4	母親と父親のどちらが多いか	どなる	1. ぜったいに母親が多い	22.3	20.8	24.0	24.1	23.1	20.0
			2. どちらかといえば母親	36.6	34.1	39.6	32.5	37.8	38.4
			3. どちらともいえない	21.6	21.2	21.9	20.5	22.3	21.6
			4. どちらかといえば父親	11.8	14.6	8.5	13.3	10.2	12.5
			5. ぜったいに父親が多い	7.7	9.3	6.0	9.6	6.6	7.5
		注意 すぐその場で	1. ぜったいに母親が多い	24.8	22.0	27.9	24.8	26.5	22.7
			2. どちらかといえば母親	46.8	46.3	47.6	46.4	49.2	44.5
			3. どちらともいえない	21.9	24.6	18.8	21.6	19.7	24.7
			4. どちらかといえば父親	4.4	5.3	3.4	4.8	3.8	4.9
			5. ぜったいに父親が多い	2.1	1.8	2.3	2.4	0.8	3.2
		と黙っていることが多い	1. ぜったいに母親が多い	2.9	2.4	3.4	3.4	3.2	2.0
			2. どちらかといえば母親	7.0	7.0	7.0	3.4	7.1	9.7
			3. どちらともいえない	53.7	53.9	53.4	61.8	48.5	53.1
			4. どちらかといえば父親	30.5	30.4	30.7	26.7	35.0	28.5
			5. ぜったいに父親が多い	5.9	6.3	5.5	4.7	6.2	6.7
	自分で考えよう をかける言葉	1. ぜったいに母親が多い	8.7	8.8	8.6	10.2	9.7	6.2	
		2. どちらかといえば母親	30.1	29.9	30.3	20.8	34.1	29.8	
		3. どちらともいえない	36.7	34.5	39.1	45.0	30.9	40.0	
		4. どちらかといえば父親	19.1	19.7	18.5	17.9	20.6	18.4	
		5. ぜったいに父親が多い	5.4	7.1	3.5	6.1	4.7	5.6	
5	いしつけのく	1. よくある	3.8	4.3	3.1	1.7	3.2	6.1	
		2. ときどきある	22.8	26.1	19.1	21.5	24.7	21.5	
		3. あまりない	63.9	61.2	67.2	65.8	63.4	63.3	
		4. 全くない	9.5	8.4	10.6	11.0	8.7	9.1	
6	父親の対応について	や一緒に遊ばないで	1. とてもそう思う	16.1	17.5	14.6	21.6	15.4	12.3
			2. わりとそう思う	22.0	22.9	20.9	21.6	21.3	23.0
			3. 少しそう思う	26.6	25.9	27.4	23.3	31.2	24.0
			4. あまりそういうことはない	26.0	24.6	27.5	26.2	21.1	31.7
			5. 全くそういうことはない	9.3	9.1	9.6	7.3	11.0	9.0
		てほびしいと言っている	1. とてもそう思う	7.6	8.9	6.1	7.3	7.2	8.3
			2. わりとそう思う	14.0	13.1	15.0	13.8	13.9	14.2
			3. 少しそう思う	23.8	22.5	25.3	22.8	24.2	24.1
			4. あまりそういうことはない	36.9	37.6	36.0	38.2	36.9	35.9
			5. 全くそういうことはない	17.7	17.9	17.6	17.9	17.8	17.5
	れ要求を受け入	1. とてもそう思う	4.2	3.7	4.7	3.2	5.3	3.6	
		2. わりとそう思う	11.8	11.6	12.0	7.7	12.8	13.9	
		3. 少しそう思う	24.4	25.1	23.7	25.5	24.9	23.1	
		4. あまりそういうことはない	43.7	44.0	43.4	47.0	41.9	43.2	
		5. 全くそういうことはない	15.9	15.6	16.2	16.6	15.1	16.2	
	て父親が弁護し	1. とてもそう思う	3.0	2.3	3.7	2.0	3.9	2.6	
		2. わりとそう思う	4.6	5.8	3.3	4.5	4.5	5.0	
		3. 少しそう思う	13.0	15.7	10.1	13.4	12.3	13.5	
		4. あまりそういうことはない	49.6	47.2	52.2	48.0	50.7	49.5	
		5. 全くそういうことはない	29.8	29.0	30.7	32.1	28.6	29.4	
せ母親にまか	1. とてもそう思う	8.9	7.7	10.3	9.3	9.8	7.6		
	2. わりとそう思う	14.2	14.8	13.6	13.8	16.2	12.2		
	3. 少しそう思う	22.2	22.3	22.1	20.3	20.2	26.1		
	4. あまりそういうことはない	33.8	33.1	34.5	34.2	34.8	32.3		
	5. 全くそういうことはない	20.9	22.1	19.5	22.4	19.0	21.8		

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年		
7	が父母のどちらから	1. ぜったいに母親	8.0	6.0	10.2	9.7	7.2	7.5	
		2. どちらかといえば母親	18.1	14.6	22.1	18.2	18.1	18.0	
		3. どちらともいえない	16.9	15.0	19.1	19.0	17.5	14.4	
		4. どちらかといえば父親	30.4	32.6	27.9	28.0	31.0	31.9	
		5. ぜったいに父親	26.6	31.8	20.7	25.1	26.2	28.2	
8	母親の子ども時代	実 母	1. かなり厳しいほうだった	8.1	8.9	7.3	10.4	6.6	8.1
			2. わりと厳しいほうだった	36.1	34.9	37.3	31.1	37.7	38.0
			3. どちらともいえない	32.5	30.7	34.6	35.8	30.3	32.5
			4. わりと甘いほうだった	19.7	21.0	18.3	19.5	21.8	17.5
			5. かなり甘いほうだった	3.6	4.5	2.5	3.2	3.6	3.9
	実 父	1. かなり厳しいほうだった	17.0	14.5	19.8	17.9	17.3	16.0	
		2. わりと厳しいほうだった	25.9	26.9	24.7	25.6	25.1	27.0	
		3. どちらともいえない	30.0	30.2	29.8	26.4	31.6	31.0	
		4. わりと甘いほうだった	21.0	21.7	20.3	22.8	19.6	21.3	
		5. かなり甘いほうだった	6.1	6.7	5.4	7.3	6.4	4.7	
とれたから	1. 実母にしかられたこと	37.8	40.7	34.2	43.3	36.6	34.6		
	2. 実父にしかられたこと	62.2	59.3	65.8	56.7	63.4	65.4		
9	ほめて	ず食事を残さず食べた	1. たいていよくほめている	21.7	25.2	17.8	24.6	19.4	22.0
			2. まあときどきはほめている	35.6	32.0	39.7	37.1	37.5	32.1
			3. あまりほめることはない	35.6	35.2	36.0	32.3	36.7	37.0
			4. 全くほめたことはない	7.1	7.6	6.5	6.0	6.4	8.9
	か	ち片づけをする	1. たいていよくほめている	31.8	32.6	30.8	36.9	28.6	31.3
			2. まあときどきはほめている	43.5	40.7	46.8	41.8	45.7	42.4
			3. あまりほめることはない	21.5	22.6	20.3	18.9	22.1	23.0
			4. 全くほめたことはない	3.2	4.1	2.1	2.4	3.6	3.3
	い	た準備ができて	1. たいていよくほめている	20.4	22.6	18.0	23.0	18.6	20.5
			2. まあときどきはほめている	32.1	29.2	35.4	33.5	30.8	32.5
			3. あまりほめることはない	39.5	38.7	40.3	36.2	42.0	39.1
			4. 全くほめたことはない	8.0	9.5	6.3	7.3	8.6	7.9
	る	強自しから勉	1. たいていよくほめている	45.9	47.7	44.0	51.9	43.6	44.0
			2. まあときどきはほめている	40.0	38.6	41.5	34.4	44.8	38.7
			3. あまりほめることはない	12.0	11.6	12.4	11.3	9.4	15.6
			4. 全くほめたことはない	2.1	2.1	2.1	2.4	2.2	1.7
	か	れるテレビを見守	1. たいていよくほめている	24.3	23.9	24.8	26.3	22.7	24.7
			2. まあときどきはほめている	32.5	33.5	31.4	33.6	31.9	32.3
			3. あまりほめることはない	35.9	35.3	36.5	30.8	38.4	37.0
			4. 全くほめたことはない	7.3	7.3	7.3	9.3	7.0	6.0
	か	守寝れた時間を	1. たいていよくほめている	23.3	22.8	23.8	29.1	19.2	23.5
			2. まあときどきはほめている	33.7	33.9	33.4	30.7	37.5	31.5
			3. あまりほめることはない	36.3	36.0	36.7	32.4	37.5	38.0
			4. 全くほめたことはない	6.7	7.3	6.1	7.8	5.8	7.0
	か	しに友人や兄弟	1. たいていよくほめている	53.5	54.0	52.6	53.6	51.9	55.1
			2. まあときどきはほめている	36.7	36.0	37.6	36.3	39.8	33.4
			3. あまりほめることはない	8.3	8.3	8.4	8.5	7.5	9.2
			4. 全くほめたことはない	1.5	1.7	1.4	1.6	0.8	2.3
か	た手伝いをし	1. たいていよくほめている	63.4	62.0	65.0	66.0	60.8	64.4	
		2. まあときどきはほめている	30.6	30.2	31.1	29.6	33.7	27.8	
		3. あまりほめることはない	4.8	6.2	3.2	4.0	4.1	6.2	
		4. 全くほめたことはない	1.2	1.6	0.7	0.4	1.4	1.6	

● 資料2 基礎集計表 (母親)

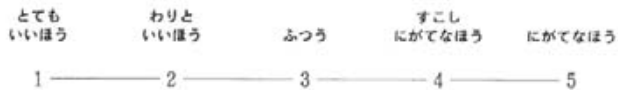
質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年		
9	ほめたい	1. たいていよくほめている	53.6	55.7	51.3	57.7	52.1	51.9	
		2. まあとどきどきはほめている	39.2	36.7	42.0	36.3	40.7	39.9	
		3. あまりほめることはない	6.1	6.4	5.8	5.6	5.8	6.9	
		4. 全くほめたことはない	1.1	1.2	0.9	0.4	1.4	1.3	
	ほめたい	1. たいていよくほめている	67.7	66.7	68.7	69.9	67.4	66.4	
		2. まあとどきどきはほめている	26.6	26.7	26.6	26.5	27.1	26.1	
		3. あまりほめることはない	4.9	5.6	4.2	3.6	4.4	6.5	
		4. 全くほめたことはない	0.8	1.0	0.5	0.0	1.1	1.0	
	ほめたい	1. たいていよくほめている	64.3	63.2	65.7	67.6	62.0	64.5	
		2. まあとどきどきはほめている	29.9	30.2	29.5	27.6	33.3	27.6	
		3. あまりほめることはない	5.0	5.8	4.1	4.4	3.9	6.9	
		4. 全くほめたことはない	0.8	0.8	0.7	0.4	0.8	1.0	
	ほめたい	1. たいていよくほめている	55.8	54.8	57.0	54.4	55.1	57.7	
		2. まあとどきどきはほめている	32.4	32.1	32.8	35.2	32.7	29.8	
		3. あまりほめることはない	10.5	11.9	8.8	9.2	10.5	11.5	
		4. 全くほめたことはない	1.3	1.2	1.4	1.2	1.7	1.0	
ほめたい	1. たいていよくほめている	75.9	75.7	76.2	78.6	75.2	74.8		
	2. まあとどきどきはほめている	18.3	17.1	19.6	17.4	18.7	18.5		
	3. あまりほめることはない	4.8	5.9	3.5	3.2	5.0	5.7		
	4. 全くほめたことはない	1.0	1.3	0.7	0.8	1.1	1.0		
10	お 子 さん	学 年	1. 1年	0.7	1.0	0.2	0.0	0.8	1.0
			2. 2年	0.3	0.2	0.5	0.8	0.0	0.3
			3. 3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			4. 4年	27.1	27.0	27.2	99.2	0.0	0.0
			5. 5年	39.1	36.3	42.4	0.0	99.2	0.0
			6. 6年	32.8	35.5	29.7	0.0	0.0	98.7
	性別	1. 男	52.7	99.0	0.5	53.6	48.8	56.7	
		2. 女	47.3	1.0	99.5	46.4	51.2	43.3	
	人数	1. 1人	7.8	8.9	6.4	9.6	6.9	7.2	
		2. 2人	52.3	50.8	54.3	47.6	51.4	57.6	
		3. 3人	35.3	37.2	33.1	35.6	37.0	32.9	
		4. 4人	3.5	2.1	5.1	5.6	3.3	2.0	
		5. 5人	0.8	0.8	0.7	0.8	1.1	0.3	
		6. (他)	0.3	0.2	0.4	0.8	0.3	0.0	
	母親の年齢	1. 20~24歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		2. 25~29歳	0.2	0.2	0.2	0.4	0.3	0.0	
3. 30~34歳		8.3	7.2	9.4	10.1	9.6	5.2		
4. 35~39歳		45.7	46.1	45.4	51.4	44.3	42.9		
5. 40~44歳		38.4	39.3	37.4	32.8	36.8	44.8		
6. 45~49歳		6.9	6.6	7.1	4.9	8.5	6.5		
7. 50歳以上		0.5	0.6	0.5	0.4	0.5	0.6		
父親の年齢	1. 20~24歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	2. 25~29歳	0.1	0.2	0.0	0.0	0.3	0.0		
	3. 30~34歳	1.6	1.5	1.9	2.0	2.2	0.7		
	4. 35~39歳	22.7	21.5	24.2	32.5	22.8	14.8		
	5. 40~44歳	53.2	54.7	51.1	48.0	52.2	58.2		
	6. 45~49歳	17.1	16.3	18.1	13.8	16.7	20.4		
	7. 50歳以上	5.3	5.8	4.7	3.7	5.8	5.9		

質問項目		全 体	性 別		学 年 別			
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年	
10	母親の職業	1. フルタイムの仕事	13.4	12.7	14.3	16.9	10.8	13.7
		2. パートの仕事	21.2	23.5	18.7	20.2	22.7	20.3
		3. 自営業	18.4	17.9	18.9	17.7	16.1	21.6
		4. 自由業	3.1	2.9	3.2	3.6	2.8	2.9
		5. 専業主婦	38.8	38.6	38.9	38.4	41.2	36.3
		6. その他	5.1	4.4	6.0	3.2	6.4	5.2
	父親の職業	1. 会社員・公務員	61.0	61.8	60.3	60.0	62.1	60.7
		2. 自営業	29.8	28.4	31.3	31.0	27.3	31.7
		3. 自由業	2.8	2.9	2.6	3.3	2.5	2.6
		4. その他	6.4	6.9	5.8	5.7	8.1	5.0

④ いま、住んでいる家は

1. アパートやマンション
2. 一戸建ての家

⑤ あなたの学校の成せきは、どのくらいですか。



② あなたの家では、つぎのようなとき、どれくらいしかられそうですか。

- | | | | | |
|--|------------------|------------------|----------------|---------------|
| | とてもひどく
しかるだろう | わりとひどく
しかるだろう | すこしは
しかるだろう | 何も
言わないだろう |
| ① 算数のテストの点数がいつも
よりずっと悪かったら…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 宿題をやらなくて、テレビをず
っとみていたら…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 食べ物のすききらいを言ったら… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 列にわりこんで、電車のキップ
を買ったら…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ (友だちとケンカして) 学校を
休みたいと言ったら…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 親にむかって「うるさいな」と
強く言ったら…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ (きょうだいのいる人) きょう
だいと、とっくみあいのケンカ
をしたら…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ 先生のわるくちを言ったら…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

③ いままであなたが、お母さんに、一番ひどくしかられたのは、どんなときでしたか。また、どんなふうにしかられましたか。できるだけわしく書いてください。

<お母さん>

- ① 一番ひどくしかられたときは、どんなときでしたか。

② どんなふうにしられましたか。

[]

では、お父さんに一番ひどくしられたときは、どうでしたか。

〈お父さん〉

③ 一番ひどくしられたときは、どんなときでしたか。

[]

④ どんなふうにしられましたか。

[]

④ いままでにあなたが、お母さんにほめられて、一番うれしかったのは、どんなときでしたか。また、どんなふうにはめられましたか。できるだけくわしく書いてください。

〈お母さん〉

① ほめられて一番うれしかったのは、どんなときでしたか。

[]

② どんなふうにはめられましたか。

[]

では、お父さんにほめられて一番うれしかったときは、どうでしたか。

〈お父さん〉

③ ほめられて一番うれしかったのは、どんなときでしたか。

[]

④ どんなふうにはめられましたか。

[]

⑤ つぎのようなことがあったとき、お母さんやお父さんはどうすると思いますか。

① あなたの通知表の成せきが下がったら。

[]

② あなたの通知表の成せきが上がったら。

[]

③ 友だちとケンカして、相手の子のくちびるを切ってしまったら。

[]

⑥ つぎのことは、どう思いますか。

- | | | | | | |
|--|------------|------------|------------|--------------|---------------|
| | とても
こわい | かなり
こわい | すこし
こわい | あまり
こわくない | ぜんぜん
こわくない |
|--|------------|------------|------------|--------------|---------------|
- ① あなたのお父さんは、おこ
るとこわいですか…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
- ② あなたのお母さんは、おこ
るとこわいですか…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5
- ③ たんにんの先生は、おこ
るとこわいですか…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

⑦ あなたは、ふだん、お父さんとお母さんのどちらから、しかられることが多い
ですか。

- | | | | | |
|-----------------|---------------|-----------|---------------|-----------------|
| だんぜん
お母さんのほう | まあ
お母さんのほう | 同じ
くらい | まあ
お父さんのほう | だんぜん
お父さんのほう |
|-----------------|---------------|-----------|---------------|-----------------|
- 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

⑧ では、ふだん、お父さんとお母さんのどちらから、ほめてもらうことが多
いですか。

- | | | | | |
|-----------------|---------------|-----------|---------------|-----------------|
| だんぜん
お母さんのほう | まあ
お母さんのほう | 同じ
くらい | まあ
お父さんのほう | だんぜん
お父さんのほう |
|-----------------|---------------|-----------|---------------|-----------------|
- 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

—————これで終わりです。長い間どうもありがとう。—————

● 資料 4 学年・性別集計表 (小学生)

単位：サンプル数以外はパーセント

質問項目			全 体	性 別		学 年 別			
				男 子	女 子	4 年	5 年	6 年	
①	サ ン プ ル 数	学 年	1. 4年	255	133	122			
			2. 5年	374	182	192			
			3. 6年	310	178	132			
		性 別	1. 男子	493					
			2. 女子	446					
	家 族 の 様 子	家 族 の 人 数	1. 2人	0.4	0.6	0.2	0.4	0.3	0.6
			2. 3人	6.8	6.7	7.0	7.1	8.0	5.2
			3. 4人	40.4	40.1	40.7	37.9	38.6	44.5
			4. 5人	23.6	22.0	25.5	22.9	26.5	20.7
			5. 6人	13.5	13.8	13.1	11.5	14.2	14.2
			6. 7人	12.6	13.6	11.5	17.4	10.5	11.3
			7. 8人以上	2.7	3.2	2.0	2.8	1.9	3.5
		子 ど も の 数	1. 1人	8.3	9.5	7.0	9.8	8.0	7.4
2. 2人			52.5	51.0	54.1	47.8	50.5	58.8	
3. 3人			34.9	36.3	33.3	36.1	36.7	31.6	
4. 4人			3.5	2.0	5.2	5.5	3.5	1.9	
5. 5人以上			0.8	1.2	0.4	0.8	1.3	0.3	
の 祖 父 母 と		1. 祖父母と同居	23.6	26.5	20.4	27.7	19.0	25.8	
		2. 祖母と同居	11.9	11.0	12.8	11.5	12.6	11.3	
		3. 祖父と同居	2.2	2.0	2.5	3.2	2.1	1.6	
		4. 同居していない	62.3	60.5	64.3	57.6	66.3	61.3	
住 居		1. アパートやマンション	41.3	41.6	41.0	41.3	41.9	40.6	
		2. 一戸建て	58.7	58.4	59.0	58.7	58.1	59.4	
成 績	1. とてもいいほう	4.9	5.3	4.3	4.8	4.3	5.5		
	2. わりといいほう	26.3	25.9	26.7	27.7	26.9	24.4		
	3. ふつう	49.8	46.4	53.7	49.4	50.3	49.7		
	4. 少し苦手なほう	15.2	18.1	12.1	14.5	16.3	14.6		
	5. 苦手なほう	3.8	4.3	3.2	3.6	2.2	5.8		
②	し か ら れ る と き	か つ た ら が 悪 い	1. とてもひどくしかるだろう	4.6	4.9	4.3	4.0	4.3	5.5
			2. わりとひどくしかるだろう	14.3	14.5	14.2	17.5	13.1	13.3
			3. 少しはしかるだろう	58.7	55.5	62.1	57.9	61.2	56.3
			4. 何も言わないだろう	22.4	25.1	19.4	20.6	21.4	24.9
	た ら し い	た ら し い	1. とてもひどくしかるだろう	17.6	18.2	17.0	19.0	17.1	17.2
			2. わりとひどくしかるだろう	33.9	34.4	33.4	39.1	36.1	26.9
			3. 少しはしかるだろう	43.7	42.7	44.7	39.9	43.3	47.1
			4. 何も言わないだろう	4.8	4.7	4.9	2.0	3.5	8.8
	言 ひ た ら し い	言 ひ た ら し い	1. とてもひどくしかるだろう	6.5	6.1	7.0	7.2	6.7	5.7
			2. わりとひどくしかるだろう	21.1	21.2	20.9	23.3	20.2	20.3
			3. 少しはしかるだろう	57.4	56.7	58.1	55.4	61.8	53.7
			4. 何も言わないだろう	15.0	16.0	14.0	14.1	11.3	20.3
	言 ひ た ら し い	言 ひ た ら し い	1. とてもひどくしかるだろう	26.4	27.7	25.1	31.4	26.2	22.6
			2. わりとひどくしかるだろう	33.9	31.5	36.5	33.5	37.4	30.2
			3. 少しはしかるだろう	30.2	29.4	31.0	29.0	27.6	34.2
			4. 何も言わないだろう	9.5	11.4	7.4	6.1	8.8	13.0
	言 ひ た ら し い	言 ひ た ら し い	1. とてもひどくしかるだろう	33.7	37.3	29.7	37.0	36.0	28.3
			2. わりとひどくしかるだろう	33.9	32.7	35.3	36.2	30.7	35.8
			3. 少しはしかるだろう	26.0	24.1	28.1	20.7	28.0	28.0
			4. 何も言わないだろう	6.4	5.9	6.9	6.1	5.3	7.9
言 ひ た ら し い	言 ひ た ら し い	1. とてもひどくしかるだろう	46.8	46.3	47.4	51.4	47.7	42.1	
		2. わりとひどくしかるだろう	31.4	29.8	33.1	31.9	33.6	28.3	
		3. 少しはしかるだろう	17.2	18.3	15.9	13.9	15.4	21.8	
		4. 何も言わないだろう	4.6	5.6	3.6	2.8	3.3	7.8	

● 資料 4 学年・性別集計表（小学生）

質問項目			全 体	性 別		学 年 別			
				男 子	女 子	4 年	5 年	6 年	
2	し か ら れ る と き	し ケン カ を	1. とてもひどくしかるだろう	23.0	22.9	23.0	30.9	21.8	18.2
			2. わりとひどくしかるだろう	35.2	38.7	31.6	33.0	32.8	39.7
			3. 少しはしかるだろう	31.1	27.6	34.7	28.3	33.5	30.5
			4. 何も言わないだろう	10.7	10.8	10.7	7.8	11.9	11.6
	を 先 生 の 悪 口 を 言 っ た	し ケン カ を	1. とてもひどくしかるだろう	29.1	32.9	25.1	38.9	31.3	19.0
			2. わりとひどくしかるだろう	27.4	28.0	26.8	27.5	29.5	24.8
			3. 少しはしかるだろう	27.4	24.4	30.6	26.2	25.3	30.7
			4. 何も言わないだろう	16.1	14.7	17.5	7.4	13.9	25.5
6	お こ ろ こ わ い か	父 親	1. とてもこわい	37.0	40.0	33.6	35.8	38.7	36.1
			2. かなりこわい	28.3	27.4	29.2	30.5	28.2	26.5
			3. 少しこわい	23.5	21.0	26.5	21.7	20.4	28.8
			4. あまりこわくない	7.6	7.5	7.7	7.6	8.8	6.0
			5. ぜんぜんこわくない	3.6	4.1	3.0	4.4	3.9	2.6
	母 親	1. とてもこわい	25.4	24.0	26.9	24.2	25.3	26.3	
		2. かなりこわい	37.4	33.6	41.6	40.5	40.5	31.3	
		3. 少しこわい	25.0	26.9	23.0	27.4	23.1	25.3	
		4. あまりこわくない	10.0	11.8	8.0	6.3	9.4	13.8	
		5. ぜんぜんこわくない	2.2	3.7	0.5	1.6	1.7	3.3	
	担 任 の 先 生	1. とてもこわい	24.5	22.9	26.2	26.2	23.8	23.9	
		2. かなりこわい	25.4	25.6	25.3	26.6	29.5	19.6	
		3. 少しこわい	29.8	27.0	32.8	34.9	30.0	25.1	
		4. あまりこわくない	13.5	16.7	10.0	9.1	11.5	19.6	
		5. ぜんぜんこわくない	6.8	7.8	5.7	3.2	5.2	11.8	
7	か ら ら か ら し	1. だんぜん母親のほう	32.2	31.8	32.8	29.6	32.8	33.8	
		2. まあ母親のほう	36.1	32.1	40.1	34.8	36.0	36.7	
		3. 同じくらい	20.6	22.9	18.1	24.8	19.0	19.2	
		4. まあ父親のほう	5.6	6.6	4.6	4.8	6.8	5.0	
		5. だんぜん父親のほう	5.5	6.6	4.4	6.0	5.4	5.3	
8	め ど ち ら か ら ほ	1. だんぜん母親のほう	15.2	16.6	13.7	14.3	13.8	17.7	
		2. まあ母親のほう	25.4	25.9	24.9	28.3	24.4	24.3	
		3. 同じくらい	47.2	44.4	49.9	44.6	49.4	46.3	
		4. まあ父親のほう	7.9	8.1	7.8	8.0	8.1	7.7	
		5. だんぜん父親のほう	4.3	5.0	3.7	4.8	4.3	4.0	